

おおとり会だより

時代に呼応

「新しい一歩を踏み出しました」

会長 長屋 梅子

(国文学科・短大七回生)



最近の環境破壊は甚だしく、草木や花々も戸惑いを隠せないようでありませう。昨年十一月ツツジ公園へ行きま

した。来季のために今は花をもたずに静かに力を貯えているのではないでしようかと思いきや、時季外れの返り花が何とたくさん咲いていたことかと驚かされました。と同時に、これは植物に限ったことではない。まさしく動物や人間にとっても言えることではないでしようか。そう思うと、急に友達のこと家族のこと、同窓生のこと等が気になりました。

皆様、如何お過ごしですか。日に日に暮らしくさを増す今日、遅しく生き抜いていらつしやいますか。

さて、私が大石邦枝前会長より受け継いで早一年が経ちます。前会長の活動計画をそのまま踏襲していく中で、皆様の意向に極力添いながら、一つでも二つでも改善できるものがあればいいのではないかと、ゆったり構えていましたが、そうは問屋が下ろさなかつたようです。

役員層が少しばかり若返つたというのでしよか。会計・庶務・イベント・会報・名簿各委員、更に当番幹事の皆様方の動きに、建設的な変革の勢いを感じました。会長が新米ならば、周りがそれぞれの立場から支えてくださるのだと、この自然発生的な動きに感動し、よい仲間にもまれていくことに心から嬉しく、有り難く思っております。

先ず初っ端からでした。「会長さん、今年の当番幹事ですが、ご高齢で、夜の会合や体力を使うイベントには出席出来ないという方は、免除しませんか。その分若い者が頑張りますので。」と庶務からの心遣いには泣かされました。

更に会計からは「名簿管理から会報編集・印刷・総会案内状発送まで、一手に引き受けてくださる業者がありますよ。一度、説明に来ていただいたら如何でしよか。」という画期的な業者の紹介をいただきました。私は間髪を入れずその話に乗りました。それが出来たらこれまで御苦労されていたクラス幹事さんをはじめ多くの担当者の労力軽減に繋がります、どんなに喜ばれることでしょう。このことは理事会において、しっかりと説明させていただきます。「金銭云々ではない、時代の波に乗ろうよ。」と言つて決定を見た次第です。

どんな会であれ、会が存続している以上、歩みを止めてはならないと常々思つておりましただけに、このことは大きな前進であり、時代に即した変革と見ております。会員の皆様には、尊い基金の一部を使用させていたたくことに是非とも御理解を賜り、更に今後とも、温かな御支援・御協力を賜りたく、伏してお願ひ申し上げます。

副会長紹介

新会長の異動に伴い、副会長も交代しました。宜しくお願ひします。



国文学科 大学五回生 山本千秋



英文学科 短大十一回生 青木則子



食物学科 大学二回生 鈴木真理子



被服学科 大学二回生 鈴木明美

『今後のおおとり会会員名簿変更についてのお願ひ』

住所等変更の場合は各科の名簿係またはクラス幹事までご連絡ください。尚、クラス幹事は変更内容を各科の名簿係にお知らせください。

◎国文学科 佐藤 容子

◎国文学科 山本 千秋

◎英文学科 瀧 智子

◎食物学科 赤堀 美里

◎被服学科 長田 直子

これからの三〇年を 一緒につくりましょう



静岡県立大学
学長 鬼頭 宏

静岡女子短期大学、静岡女子大学が薬科大学と合流して、静岡県立大学として再出発してから三十年が経とうとしています。「おおとり会」の一番若い卒業生のみなさまも、社会を支える中心として、さまざまな面で活躍されていることと拝察いたしております。

わたくしは昨年、平成二十七年四月に県立大学第六代目の学長として就任しました。歴代学長が医薬系のご出身であったのに対して、少々、毛色が違います。わたくしは経済学分野で人口の歴史的研究を中心に活動してきました。人口減少に直面する「地方創生」の時代にあたって、「地域のために、地域とともに」を標榜し、「地域をつくる、未来をつくる」ことを県立大学の使命と心得て大学運営

をおおとり会のみなさま、いつも現役学生を支えていただき感謝申し上げます。

を推進していく覚悟でおります。すでにご承知の方も多いことと思いますが、本学のプログラム「ふじのくに」「からだ・こころ・地域」の健康を担う人材育成拠点」が、平成二十六年に文部科学省「地（知）の拠点整備事業」（COC）に採択されました。健康・長寿社会の構築を目指して、「ふじのくに」みらい共有センターを中心に、全学を挙げて地域を志向した教育・研究・地域貢献を展開しております。

全学共通科目に地元静岡について知ることをめざす「しずおか学」（十八科目）、コミュニティ・ワーク力を備えた学生を養成する「地域づくりの理論」「地域造の手法」を開講しています。自治体（県、静岡市、牧之原市、島田市）と提携した活動を展開しており、とくに静岡市、牧之原市にはサテライト・オフィスを置き、専任の担当者が日々、地域に溶け込んで活動を展開しています。

人口減少は地域だけではなく、大学にとっても大きな脅威となっております。現在、十八歳人口は一二〇万

人程度ですが、二〇一八年以後は大きく減少すると予想されています。大学は生き残りをかけて変わっていかねばなりません。県大創立三〇周年を目前にして、わたしたちはこれまでの歩みを回顧するとともに、これからの三〇年、大学をどのように作り替えていけばよいのか、全学を挙げて模索しているところです。

具体的な提案としては、グローバル化に対応して英語教育を強化するために、言語コミュニケーション研究センターを拡充します。海外交流を盛んにし、外国人研究者と留学生を受入れるために、国際交流会館（留学生寮）の建設を計画しています。地方から世界への発信基地として、お茶に関する科学や文化について教育や、海外から静岡への旅客誘致を研究する観光学コースの開設も検討しています。

静岡女子短期大学、静岡女子大学は現在の県大の源流です。おおとり会のみなさまと一体になった同窓会組織をつくり、これからの三〇年のために智慧とお力を拝借したいと考えております。

みなさまのますますのご健勝をお祈り申し上げます。



はばたき寄金

平成二十七年度『おおとり会賞』は、左記の団体が選出され、平成二十七年四月二十三日に行われた開学記念行事において、鬼頭宏学長から表彰されました。

静岡シンフォニックウィンドズ

吹奏楽を通じて聴いてくださる方々に元気を届けることを念頭に活動しています。平成二十六年度第五十五回静岡県吹奏楽コンクール大学において、三年連続の金賞という好成績をおさめました。

又、幼稚園児対象のミニコンサートや、患者さん達を励ます支援イベント等、地域での活動にも積極的に参加しています。

これからも、支えてくださる全ての方々に感謝を忘れず、部員一同練習に励んで行きます。



十二月には、県大大講堂で定期演奏会を行います。是非お越し下さい。

輝く女性シリーズ II



助産師の仕事と私

静岡県助産師会

会長 草野恵子

被服学科(大学五回生)

女子大を卒業して四十年経ちました。現在、静岡市内で助産院を開業し、助産師の仕事をしています。自営業ですので定年退職はなく、分娩介助や産後の子育て支援等を行っています。

女子大では家政学部被服学科で学び、卒業後は静岡市内の着物を染めている会社に就職しました。最近は何服がブームですが、当時は和服業界の不況等もあり、七年間勤務して退職しました。

その頃、友人たちと女性の体や女性史の勉強会などして、再就職するなら女性の役に立つ仕事に就きたいと思いました。又、三十歳でしたので、再就職先を探すのも難しいと思ひ、医療職として就職先もあるだろう助産師になろうと思ひ、静岡県立厚生保育専門学校に進学して看護師と助産師の資格をとりました。卒業後は総合病院の産婦人科病棟と助産院に勤務しましたが、四十五歳の時に独立して、現在の助産院を開きました。開業して十八年経ち、最初に生まれた赤ちゃんも高校生になりました。助産師の仕事は、昼も夜も、お盆もお正月も関係ありませんが、赤ちゃんが元気に産声をあげて、お母さんが



幸せそうにしている顔を見るのが一番嬉しい時です。

最近では少子化、核家族、高齢出産などで、出産を取り巻く環境も変わってきました。自分の子どもを抱くまで赤ちゃんに接する機会がほとんどないため、産後、育児に不安を訴えるお母さんが多くいます。イクメンと称して育児に積極的に参加する男性も増えてきているとは言っても、長時間勤務の父親は依然として多く、やはり、子育ての負担は母親の方へ多くかかっています。育児不安を理由にした「産後うつ」や「乳幼児虐待」などが話題になっていますが、現実はかなり深刻です。

私は現在、一般社団法人静岡県助産師会の会長をしていますが、助産師は妊娠・出産・育児に関わる専門職ですので、少しでも母親や赤ちゃんが元気に過ごすことが出来るように寄り添いお役に立ちたいと思っています。助産師会としては、県や市など、

行政との委託事業で「産婦・新生児家庭訪問」や「産前産後の母親サポート事業」を行ったり、独自に「育児相談会」「命のはなし出前講座」などを行っています。

私個人では、助産院で「ベビーマッサージ」「子連れヨガ教室」「手づくりおもちゃの会」「手縫いの会」などで母親同士の交流の場を提供して子育てのお手伝いをしています。大学で学んだことはいま離れた分野にいるような気もしますが、生活に根ざしているという点では共通していると思えます。

いつまでやれるかわかりませんが、もうしばらく続けてみようと思ひます。



剣祭 パザーから

平成二十七年十月三十一日、小春日和の暖かい日、今年も同窓会として県大の剣祭に参加しました。今までは「おふくろの味」として手作りの食べ物や小物類を出品していましたが、先年の安倍川火花大会での食中毒事件の影響から今年からは現場で作った食べ物以外は禁止となり、急ぎよ、「おふくろの味」は取り止め、当番幹事の皆様から品物を寄付していただきパザーを行いました。近隣のお客様には好評でしたが、今後については、会員の皆様からのご意見を伺いながら理事会で検討していきます。

なお、平成二十八年度については内容は未定ですが、剣祭には参加します。

剣祭パザー収益金三三二、二〇〇円は、本部会計に入金させて頂きました。ご協力有難うございました。



平成27年度総会報告

平成二十七年六月十四日(日)、静岡県立大学にておとり会総会が開催されました。当日は、県立大学から学長先生、学生部長先生、学生室長先生、恩師の大山先生、中田先生、上柳先生、高瀬先生、関森先生、そして同窓生二六名(国文二六、英文三七、食物四八、被服十五)の参加で行われました。

第一部総会では、新学長の鬼頭先生からご祝辞を頂戴し、新たな取り組みで進んでいく県大の将来に期待を寄せるとともに、わが同窓会との結びつきの深さも再確認しました。

その後、二十六年事業、決算、会計監査の報告、二十七年事業計画案、予算案の提案があり承認されました。また、今年には二年毎の役員改選年であり、十二年間務められた大石会長から長屋さんにバトンタッチ、他にも数名の本部役員交代案が提出、承認されました。広く温かなお心で同窓会活動をリードしてくださった大石会長への感謝の念は絶えませんが、その後、二十七年「おとり会賞」受賞の県大吹奏楽部の学生さんからのご挨拶をいただき、すばらしいご活躍ぶりを知り、ますますの羽ばたきを祈念しました。



総会案内の返信欄にお寄せ下さった恩師の先生方のご近況を一部割愛して紹介させて頂きます。

木苗直秀先生
静岡県立大学学長時代には大変お世話になりました。五月二十一日付で静岡県教育長に就任しました。

廣部雅昭先生
最近はおづくりの原点、幼児教育の



第二部は、ソプラノ歌手関森温子様(関森勝夫先生のお嬢様)のロシア音楽を中心にしたコンサートでした。美声に心奪われるだけでなく、温かなお人柄のトークが楽しく、全員での合唱も交え、とても豊潤な時間を過ごすことができました。

第三部の懇親会は、久しぶりの旧知との語り合いの時であり、美味しいお料理をいただきながら和やかに行われました。今なお輝かしく活躍なさっている恩師の先生方のお話は、われら若輩者への励ましのお言葉と受け取り、明日からへの思いを新たにしました。

今回は五回、十回、十五回、二十回の卒業生が当番幹事として務めさせていただきましたが、脈々と繋がる同窓生の輪を今後も大切にしたいと思っています。

(国文科 大学五回 山本千秋)

平成27年度 総会案内の返信欄より

平成26年度 決算報告書

自平成26年4月1日 至平成27年3月31日 (単位:円)

総収入 9,931,811円 総支出 924,287円 残高 9,007,524円

収入の部				支出の部					
費目	予算額	決算額	増減	備考	費目	予算額	決算額	増減	備考
受け取り利息	20,000	18,910	▲1,090	定期郵貯・通常郵貯	事業費	200,000	149,120	▲50,880	総会・剣祭
基金入金	100,000	105,000	5,000	38件	会議費	100,000	92,904	▲7,096	役員会・理事会・当番幹事会・会報委員会
剣祭収益金	60,000	83,650	23,650		印刷費	300,000	296,545	▲3,455	会報・総会案内状・会議資料コピー等
雑収入	0	0	0		通信費	400,000	358,857	▲41,143	総会案内状発送・会議通知等
					慶弔費	50,000	12,127	▲37,873	弔電・香典
					事務・雑費	20,000	14,734	▲5,266	印刷用紙・インク・文具等
					予備費	30,000	0	▲30,000	
小計	180,000	207,560	27,560		小計	1,100,000	924,287	▲175,713	
前年度繰越	9,724,251	9,724,251	0		次年度繰越	8,804,251	9,007,524	203,273	定期郵貯・通常郵貯・現金
総計	9,904,251	9,931,811	27,560		総計	9,904,251	9,931,811	27,560	

上記のとおり報告致します。 平成27年3月31日
 会長/大石邦枝 会計/瀧浪恵子・赤堀美里
 監査の結果、相違なく適正と認めます。 平成27年4月18日
 会計監査/大河内悦子・谷 薫

平成27年度 予算

自平成27年4月1日 至平成28年3月31日 (単位:円)

総収入 9,177,524円 総支出 9,177,524円 残高 0円

収入の部				支出の部					
費目	27年度予算額	26年度予算額	増減	備考	費目	27年度予算額	26年度予算額	増減	備考
預金利息	10,000	20,000	▲10,000	定期郵貯・通常郵貯	事業費	300,000	200,000	100,000	総会・剣祭・会報
基金入金	100,000	100,000	0		会議費	100,000	100,000	0	役員会・理事会・当番幹事会・会報委員会
剣祭収益金	60,000	60,000	0		印刷費	300,000	300,000	0	会報・総会案内状・会議資料コピー等
					通信費	400,000	400,000	0	総会案内状発送・会議通知等
					慶弔費	50,000	50,000	0	弔電・香典
					事務・雑費	20,000	20,000	0	印刷用紙・インク・文具等
					予備費	30,000	30,000	0	
前年度繰越金	9,007,524	9,724,251	▲716,727		次年度繰越金	7,977,524	8,804,233	▲826,709	
合計	9,177,524	9,904,251	▲726,727		合計	9,177,524	9,904,233	▲726,709	

*他費目への流用を認める

国組織に関わり若返りにも役立っています。
 プレメラン人生です。

上柳富美子先生
 県大を退職して20年、この間、静岡日本語センターの理事を務め、何人かの留学生の保証人として、アジアの若い人達との交流を重ねてきましたが、昨年引退しました。

お知らせ

同窓会案内の振込用紙の宛名には、事務処理上、下記のようなイニシャルがついています。

編集後記

色刷りの紙面の会報は、会員の皆様の和やかな交流の場として、お役に立てることと思います。是非、同窓生の皆様からのお便りをお寄せ下さい。

編集委員 青木則子・石田加苗・井上明子
 高橋節子・森 恵美

- 短大国文(TK07) 短大英文(TE01)
 - 短大食物(TS01) 短大被服(TH01)
 - 大学国文(DK07) 大学英文(DE01)
 - 大学食物(DS01) 大学被服(DH01)
- 例:TK07(短大国文7回卒)